

みと 美都



ご卒業おめでとうございます



御津南部小学校
校長室だより
令和6年3月22日
No.46

修了を迎えて



猛暑や感染症の流行等、様々ことがあった1年でしたが、工夫して教育活動を行い、何とか無事に年度末を迎えることができました。「全部本気」を合言葉に、一人一人が前を向いて頑張ってくれました。本日、子どもたちに渡した修了証は、1年間よく努力して、頭も身体も、そして心も、全てを立派に磨き上げたことを証明するものです。そして、通知表には、みなさんの成長の姿、学びの足跡が記されています。しっかりと受け止めて、来年度に向かって、新たな目標につなげてほしいと思います。御津南部小学校の子どもたちは、本当によくがんばりました。



修了式では、こんな話をしました



この1年、色々なことがあった学校を、全校のみんなが支えてくれました。本当にありがとう。そして、一人一人が、「全部本気」を意識して、一步を踏み出してくれました。こんなうれしいことはありません。

校長先生からは、感謝の気持ちとこれからの願いを込めて、今日は、おとぎ話のような話をしてみたいと思います。「**おうむ**」というお話です。

むかし、昔のことです。ある時、ヒマラヤの中腹で山火事が起こりました。折からの強い風にあおられて、火はみるみるうちに広がっていき、そこに住んでいる鳥やけものたちは、あわてふためいて右往左往するばかりでした。

と…その時、一羽のおうむさんが空に飛び立ち、ふもとの池に向かって一目散に飛んでいきました。そして、池にざぶんと飛び込んで、体全体をずぶぬれにぬらして山まで飛んで帰り、燃え続ける火に向かって羽を振ってしずくをたらしました。

そしてまた、ふもとの池に行き、体をぬらして燃えさかる火の上にしずくをたらす。それを何度も繰り返すのでした。そのうちに息が切れ、くたくたに疲れ果ててしまいましたが、おうむはそれをやめようとはしませんでした。

その様子を雲の上からじっと見ておられた仏様は、おうむに「君が運んでくるくらいの水でこの山火事が消せると思うかね」と、優しくたずねられました。おうむは答えました。「消えるか消えないかは、私たちには分かりません。しかし何もしなければ、この森に住む仲間が死んでしまいます。放ってはおけません。私が仲間にしてあげられることはこれしかありません。それに、長い間お世話になった森への、これが私にできる精一杯の恩返しです。おろかなことかもしれませんが、どうか続けさせてください」と言って、またふもとの池へ飛んでいきました。

このおうむに感動した仏様は、仏様らしい超能力を発揮してくれました。やがて、みるみるうちに空一面に雲が広がり、雨が降り出し、あっという間に大雨になりました。そして、あんなに燃えていた山火事も、完全に消えてしまいました。

というお話です。このお話は、奈良の薬師寺というお寺の管長さんであられた高田好胤さんがよくなさっていたお話だと聞いています。



御津南部小学校にもたくさんのおうむさんがいることを校長先生は知っています。自分のできることで懸命に羽を振って、学校のため、学級のため、委員会のため、友だちのため、下級生のために頑張ってくれている子がたくさんいます。学級の係活動や掃除を一生懸命にやってくれるのも立派なおうむさんです。来年も、おうむさんのように、一人一人が自分のできることを考え、自分から動き出す。そんな姿を期待しています。

最後に、明日からは春休みです。1年間の勉強が終わってほっと気が緩みがちになるのがこの春休みです。よい春休みにするために、二つお願いをします。一つめは「自分の命は自分で守ること」。これは一番大事です。感染症予防と交通事故防止を強くお願いします。二つ目は「何か一つ、よい習慣を身につけられるよう取り組んでみてはどうでしょうか」。早起きでもあいさつでも、片づけでも自主学習でも、健康づくりでもOKです。4月からの新しい学年でもきっと役に立つと思います。ぜひ挑戦してみてください。

4月には、1学年大きくなったみなさんと希望に満ちた始業式が迎えられることを校長先生は楽しみにしています。



卒業式のようす



19日(火)、来賓の方々、保護者の皆様の温かい眼差しに見守られ、第77回卒業証書授与式が行われました。6年生は全員出席し、卒業証書を受け取りました。卒業証書を手にした85名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。担任の先生の、万感の想いを込めた呼名に応えた「返事」。卒業証書を受け取る時の卒業生の表情は、緊張の中にも喜びにあふれ、希望に輝いていました。校長先生からは、「皆さんの未来は、皆さんの手で切り開いてください」と激励のメッセージを送りました。そして、卒業生の「別れの言葉」と「学年合唱」では、6年間の小学校生活を頑張りぬいた満足感と、未来を切り開いていこうとする強い決意が感じられ、とても頼もしく、とても嬉しく思いました。

6年生に負けずに立派だったのが5年生、ご参観された人たちが、今年の5年生は動きも顔つきも集中力もすばらしいとほめてくださいました。参加しなかった1年生から4年生までの在校生のみなさんの感謝の気持ちも、卒業生にしっかりと届いたと思います。すてきな卒業式でした。



新型コロナウイルスが5類に移行し、日常が戻りつつあった1年でした。子どもたちも職員もみんながんばりました。子どもたちや学校の様子を少しでも多くの方に伝えたいという思いで校長室だよりを発行してきました。今回が今年度最終号になります。

今年1年間、本当にありがとうございました。学校にお寄せいただいたご理解とご協力に心よりお礼申し上げます。

